

# 自己評価・自己点検のまとめ

令和4年度

【令和4年4月1日から令和5年3月31日まで】

学校法人 鳳明学園  
認定こども園 高館幼稚園

当園では、子どもたちの健やかな成長と安全を確保するとともに、職員一人一人の教育・保育の質の向上を図るためにチェックリストを活用し、良かった点や改善点などを再確認しております。

保護者の皆様や地域の方々との連携をさらに深め、子ども達の大切な命を預かっているという使命感を全職員が共有していけるようにこれからも努めて参りたいと思います。

#### 1. 評価項目の達成及び改善対策

評価項目	改善対策
<p>衛生の保持について</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防対策には、登園基準など全員が把握し対応し、発症しても慌てずに行政機関に報告し、保護者対応ができた。</p> <p>上記以外の感染症に対する対応は、把握していてもあいまいになってしまっている内容もあったので、当園基準表の再確認が必要と感じた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの対応については、職員もしっかりと対策対応を把握し、行政機関、保護者対応も迅速に行うことができた。</li> <li>昨年度も改善点で取り上げられたが、感染症に関する病気が流行した時の対策があいまいになってしまっていたので、職員がしっかりと把握できるように意識と知識を高めていくようにする。</li> </ul>
<p>不審者対応</p> <p>年に2回、不審者安心対応訓練を行っている。対策等しっかりと考え訓練しているが、万が一を考え、もっと踏み込んだ設定をして、子供の命を守れる対応や対策を行い、迅速に対応していけるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も様々な場面を想定をして訓練を行い、万が一に備えて安全に子どもたちの命を守れるよう訓練を行っていく。</li> </ul>
<p>園内外、保育室内の環境のについて</p> <p>室内掃除や整理整頓が滞っている箇所があったり、今の環境に満足して気づかない箇所があった。</p> <p>物の出しっぱなし、置きっぱなしもあり、必要な時に使えず困ってしまう事がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日時間を決めて掃除や整理整頓をしていくことを怠らない。</li> <li>・違った角度から園内外を見渡し、気づく目を持つようにする。</li> <li>・常にきれいな環境を保つように一人一人が意識し取り組む。</li> </ul>
<p>教育・保育課程について</p> <p>作成する際に、子どもたちの様子・育ててほしい姿等を話し合い学年の計画を立てているが、育ちの連続性への大切さをもっと意識していくようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の見直し、計画を立てる際は、各学年の育ちとともに、0歳児から5歳児までの育ちの連続性をもっと意識し、計画に盛り込む。</li> </ul>

## 自己点検の分析

### ① 掃除・環境整備の徹底

子どもたちの生活する園内外、特に保育室の環境を、隅々まできれいにし、良い環境の中で保育を展開するようにする。また、気づく目をもって園内外で修理・修繕する箇所を見つけ、直していくようにする。

### ② 職員のコミュニケーションについて

ミーティングで話したことが、うまく伝わらないこともあり、学年間でも話し合う時間がうまく取れないときもあった。伝達の大切さを各々が意識し、時間に使い方を見直し、コミュニケーションをとるようにする。

### ③ 感染症対策について

今年度も新型コロナウイルス感染症対策に取り組んできた。園内、通園バス等の消毒・換気・マスクの着用など意識し毎日実施してきた。

新型コロナウイルス感染症予防対策には、姉妹園とも話し合いを行いガイドラインの見直し等も行ってきた。また、行政機関と連絡を取り、保護者の皆様も法人のガイドラインを参考にご理解を頂きました。園内で、流行しないように、今後も務めていきたい。

### ④ 個別配慮児の対応について

姉妹園の療育施設と連携を図り、一人一人に合わせたかかわりを行ってきている。また、園での姿（集団の中での経験から見える成長）を保護者に伝えたり、保護者とも連絡を取り合ってきた。今後も、一人一人に寄り添い、個々の成長を保護者と療育施設と園で支援していきたい。

### ⑤ 食育活動について

子供たちが大好きな絵本を題材にした、「絵本給食」を実施。見た楽しんだり、食べることへの喜びをさらに感じれた1年だったと思う。小学校へ進学する年長児からリクエストメニューを給食室にお願いしたりと、子どもたちの給食（食）への関心や喜びが伝わる1年だった。来年も続けていきたい。

